

# 『日本語日常会話コーパス』モニター公開版に見られる 感動詞以外の応答表現

柏野 和佳子 (国立国語研究所音声言語研究領域) \*

## Variety of Responsive Representations Other than Interjections Observed in the Monitor Version of the *Corpus of Everyday Japanese Conversation*

Wakako Kashino (National Institute for Japanese Language and Linguistics)

### 要旨

会話中には、相手の発話に応じ、何らかの反応を返す表現が多用される。これを「応答表現」と呼ぶ。柏野(2019)では、『日本語日常会話コーパス』モニター公開版(小磯ほか2019)を対象に、応答表現用法があるととらえた感動詞の使用実態を報告した。また、文末表現が応答表現として用いられているものから(1)デス系、(2)ダ・ダロウ系、(3)ジャ・デハ系の三つの使用実態を報告した。本稿では、それら以外の文末表現の(4)カナ・カモ・ネ・ト系と、名詞、副詞、形容詞など、感動詞以外の品詞の語が応答表現として用いられている語について抽出し、(1)肯定・否定の反応を示す応答表現と、(2)感情(驚き・感心・喜び・落胆など)の反応を示す応答表現[(1)以外]という大きな2分類のもとで集計した結果を報告する。

### 1. はじめに

本稿では、相手の発話に応じ、何らかの反応を返す表現を「応答表現」と呼ぶ。それだけで一文を形成したり、文頭に発せられたりする短い表現である。応答表現で頻出するのは、「うん」「はい」「ああ」などのいわゆる感動詞と呼ばれる語である。ほかにも「ですよ」「だろうね」などのいわゆる文末表現や、「いいね」「さすが」「すごい」など感動詞以外の品詞の語句が応答表現として用いられることも少なくない。

そこで、日常会話に実際に出現している応答表現を明らかにするために、『日本語日常会話コーパス』モニター公開版(小磯ほか2019, 以降, CEJCモニター版と呼ぶ)の転記テキスト(臼田ほか2018), オンライン検索システム『中納言』版, 全文検索システム『ひまわり』/『日本語日常会話コーパス』モニター公開版を用いて調査を進めている。

柏野(2019)では、CEJCモニター版で「感動詞」とされている範囲を示し、そのうち応答表現用法があるととらえた感動詞を対象に、主に表層の形式を手掛かりに、(1)肯定・否定の反応を示す感動詞と、(2)感情(驚き・感心・喜び・落胆など)の反応を示す感動詞の二つに分類して、出現件数を集計した結果を報告した。さらに、文末表現が応答表現として用いられているものから(1)デス系、(2)ダ・ダロウ系、(3)ジャ・デハ系の三つを取り上げ、発話の文頭に出現することを手掛かりにして抽出し、集計した。

本稿では、柏野(2019)でとりあげなかった文末表現や、名詞、副詞、形容詞などの感動詞以外の品詞の語が応答表現として用いられているものを抽出、分析した結果を報告する。

---

\* waka@ninja.ac.jp

## 2. 先行研究における感動詞以外の応答表現の分類と例示

感動詞と感動詞以外のどちらも含めて応答表現を論じるときは、「あいづち」として取り上げられることが多い(柏野 2019)。

堀口(1988)は「あいづち」の機能を「聞いている, 理解, 同意, 否定, 感情表出」の5つに, 形態を「相づち詞, 繰り返し, 言い換え」の3つに分けている。「相づち詞」について, 「「ハイ」は感動詞, 「ナルホド」は副詞というように, 「いわゆる相づち」にはいろいろな品詞が含まれるが, これらは一つの枠に入れた方が扱いやすい」と, 感動詞だけではないことを明確に述べている。また, 「言い換え」のところで「ムードを表す二次的形式」として「ダロウ」や「デショウ」などが「相づち」で用いられるものであることを言及している。

大浜 (2002)は, CEJC モニター版の感動詞とほぼ重なるものを「感性的表現の相づち (感声的で概念を指さないもの)」とし, それ以外を「概念的表現の相づち (意味内容のあるもの)」として分けている。その「概念的表現の相づち」の下位には「そう系, すごい系, 本当系, うそ系, いい系, 文末系, 繰り返し系」を立てて整理している。「概念的表現の相づち」の「繰り返し系」以外の具体例は, 次の表1のとおりである。

表1 「概念的表現の相づち」の「繰り返し系」以外の系・型別の具体例 (大浜 2002)

そう系自己主張型: そう, そうそう, そうだよ, そうなんよ, そうなんだって, そういことです, そうなんです, そうなんですよ, それはある
そう系懸念表明型: そうかね, そうかな, そんなもんかね, そんなもんかな
そう系受入表明型: そうか, そっか, そっかそっか, そうなの, そうなん, そうなんだ, それもそうなんか, そうですか, そうだったんですか, そういことか
そう系同意暗示型: そうかも, それもあるかも, そうかもしれない, そうれはあるかも
そう系同意表明型: そうね, そうよね, そうやね, そうやな, そうだね, そうなのね, そうなのよね, そういことね, そうなんだよね, そうですね, そうですよ, そうなんですね, そうなんですよ
そう系そのほか: そう思ってた, そう思っちゃう, そうみたい
すごい系: すごい, すごいね, すごいじゃん, すごいよね
本当系: なるほど, なるほどね, 確かに, 確かにね, 本当, ほんとほんと, 本当に, 本当だよ, 本当ですよ, 本当ですよ, ほんまに, ほんまよね, ほんまじゃ, まじで
うそ系: だめだめ, うそー, うそばっかり, いや, いやいや
いい系: いいよ, いいじゃん, いいんじゃないですか, いいね, いいねいいね, いいよ
文末系自己主張型: でしょ, だろう
文末系懸念表明型: かな, かもしれない
文末系同意表明型: だろうね, だよ, ねー, やー, ですね, ですよ, ありますよね

なお, 表1の「概念的表現の相づち」のうち「いや, いやいや」は, CEJC モニター版では「感動詞-フィラー」として扱っているものである。

応答表現を表層で分類する場合はこの大浜(2002)の系別の分類がよく使われている(たとえば, 柳 2003, 宮永 2013, 李 2015 など)。また, 一部異なる分類も試みられている。大浜(2002)は「本当系」に「なるほど」や「確かに」を含めているが, 宮崎(2002)は, 「ほんと

系」と「なるほど系」とを分けている。本稿でも分けることにする。半沢(2011,2015,2016)は「そう、わかった」「はい、わかりました」などが頻出する点に着目し、「わかる系」という分類項目を設けている。ただし過去形のみ、としていた点は本稿と異なる。本稿では現在形も含めて「わかる系」を分類する。

吉田ほか(2009)は表層形式に基づき、次の表2に示すように6種類のものをあいづち表現として認定している。表2のうち(4)と(5)は発話に応じて応答表現の語句が定まるため特定の語句を指さないが、(3)(5)に感動詞以外の具体的な語句の例(太字で表示)をあげている。

表2 表層形式に基づいたあいづち表現(吉田ほか2009) ※太字は引用者による

<p>(1) 応答系感動詞 承認や受容を示す感動詞による反応  <b>【例】</b> ああ うん ええ おお はあ はい ふん</p> <p>(2) 感情表出系感動詞 驚き・感心や気づきを示す感動詞による反応  <b>【例】</b> あっ えっ おっ へえ</p> <p>(3) 語彙的応答 同意を示す慣用的表現による反応  <b>【例】</b> なるほど <b>確かに</b> そう(ですね)</p> <p>(4) 繰り返し 他の話者の発話の一部、もしくは全体を繰り返す反応</p> <p>(5) 補完 発話されていない他者の発話の要素を予測し補うように発話する反応</p> <p>(6) 評価応答 他者の発話内容に対しての評価的語彙(主に形容詞・形容動詞)を用いた反応  <b>【例】</b> おもしろい(な) <b>すごい</b> <b>こわ</b></p>
--

森山(1989, 2015)は、「あいづち」という語は特に使わず、感動詞やそれ以外の語句もあわせて「応答」とし、談話における応答表現というものを議論している(柏野2019)。

森山(1989)では、応答を談話展開の標識としてとらえている。分類の論点とともに、本文で言及のある語を列挙したものを、次の表3-1と表3-2に示す(感動詞以外の語を太字で表示)。

表3-1 応答の分類「態度表明系統」(森山1989) ※太字は引用者による

<p>態度表明系統</p> <p>(1) 談話の促進・伝達の停止などを表示する「伝達自体に対する応答」  <b>【例】</b> うん ふん <b>それで</b> え? <b>待って</b></p> <p>(2) 先行文が命令文や意志文である「策動文に対する応答」  <b>【例】</b> 承諾系: はい ええ <b>もちろん</b> <b>わかりました</b> <b>よし</b> <b>かしこまりました</b>  <b>(よろこんで)</b>          拒否系: <b>いやだ</b> <b>ことわる</b> <b>できない</b> <b>(だめだ)</b></p> <p>(3) 先行文が認識的な伝達である「認識的文に対する応答」  <b>【例】</b> 驚き: <b>へええ</b> <b>ふーん</b> <b>本当</b> <b>あーそう</b> <b>やはり</b> <b>なるほど</b> <b>もっとも</b>  <b>そんなあほな</b> <b>まさか</b>          肯定: うん ふん <b>もちろん</b> <b>その通り</b> <b>本当本当</b> <b>そうだ</b> <b>全く</b></p>
--

表 3-2 応答の分類「展開制御系統」 (森山 1989) ※太字は引用者による

<p>展開制御系統</p> <p>(1) 話し手聞き手関係を設定・確認するもの</p> <p>【例】おい あのー</p> <p>(2) 内容展開の積極的な方向づけをするもの</p> <p>【例】さあ まあ いや あ、<b>そうだ</b></p>
--

また、森山(2015)では、新情報遭遇に対する反応の応答に焦点を当てて議論している。新情報遭遇に対する応答表現を次の表 4 に示すとおり、3 つに分類している (感動詞以外の語を太字で表示)。

表 4 新情報遭遇に対する応答表現の分類 (森山 2015)

<p>(1) 強化や懐疑はない「導入類」</p> <p>【例】ふうん へええ <b>ほんとう</b> LHHL <b>マジー</b>HLL あ、<b>そう</b> <b>わかった</b> <b>わかりました</b> なるほど</p> <p>(2) 先行情報導入に対して確認や想定などの強化を伴う「強化類」</p> <p>【例】<b>本当だ</b> <b>ほんと</b> LHH あ、<b>そうだね</b> あああ HLL</p> <p>(3) 情報導入に対して意外感を示す、懐疑的態度の場合もある「意外表示類」</p> <p>【例】え? はあ LH? <b>うそ</b> <b>本当?</b> <b>まじ?</b> はあ?</p>
---

### 3. CEJC モニター版に出現する感動詞以外の応答表現

#### 3. 1 転記テキストからの応答表現候補の抽出

まず、CEJC モニター版の発話単位の転記テキストファイル([協力者 ID][セッション ID]luu.csv)を全部一つの Excel ファイルにまとめた。その後、次の手順にて先頭に現れる応答表現候補を抽出した。

- ①先頭より最大 10 文字を対象に句点で終わるものだけを抽出し、文字列で集計。  
異なり 25,046 件。

1	なるほ(Lど)。	3
2	なるほ(Uど)。	2
3	なるほどなるほど。	16
4	なるほど(Uね)。	1
5	なるほど。	128
6	なるほど:	24
7	なるほど:って。	1
8	なるほどな。	3
9	なるほどな:	1
0	なるほどなるほど。	1
1	なるほどね%。	1
2	なるほどね。	79
3	なるほどね:	27
4	なるほどね?。	2

図 1 先頭句点まで (最大 10 文字) の文字列抽出後の集計結果一部

②( )付きの転記タグ別に、次のように整形。また、非語彙的な母音の引き延ばしの「:」と非語彙的な音の詰まり「%」も削除した。ただし、疑問上昇調「?」はそのまま残すことにした。

a. 該当部分の削除

- (D)語の言いさし 例：(D ウ) そう。→そう。
- (W)言い誤りなど 例：(W チガ|違う)。→違う。
- (K)タグで可読性落ちるもの 例；(K ナ:ニ|何)。→何。
- (G)わかりにくい口語表現 例：(G 嫌|や)だよ。→嫌だよ。

b. タグ部分を削除

- (T)小さな声 例：(T わかんない)。→わかんない。
- (L)笑いが生じている 例：(L ちよつと)。→ちよつと。
- (C)泣きながら \*対象なし

c. 行ごと削除

- (S)歌いながら
- (M)メタ
- (O)外国語や方言
- (Y)漢字表記の特別な読み
- (U)聞き取り自信なし
- (X)不明
- (F)フィラー
- (R)伏字

③再度文字列で集計。異なり 21,513 件。

なるほど。	178
なるほどって。	1
なるほどな。	4
なるほどなるほど。	17
なるほどね。	119
なるほどね?。	2

図 2 タグ類削除後の集計結果一部

④頻度 3 以上を絞り込む。異なり 1,584 件。ここまでで得たリストを、応答表現候補とする。頻度 3 未満に含まれる応答表現は今回は扱わない。

「感動詞-フィラー」は②の段階で削除しているが、④に「感動詞-一般」は多く含む結果になっている。また、いわゆる接続表現（「だから」「だって」「なので」「なら」など）も多く含む。これらは今回対象にしない。ほか、人称や人の名前など、応答表現以外の語もある。以降は、④の目視により感動詞以外の応答表現を抽出する。

### 3. 2 CEJC モニター版にて応答表現として出現する文末表現

CEJC モニター版において応答表現として出現する文末表現を分類するための項目を、表 5 に示す。柏野(2019)では、表 5 のうち、(1) デス系、(2) ダ・ダロウ系、(3) ジャ・デハ系について報告した。本稿では、その続きとして(4) カナ・カモ・ネ・ト系という分類項目を立て、該当例を集計した結果を表 6 に報告する。

なお、発話冒頭に「なんだ。」が出現する例が 29 件あったが、「そうなんだ。」の「なんだ」と同じ「なのだ」の例ではなく、ほとんど「何だ」の例と判断されたため、ここで文末表現の例としては挙げない。

表 5 CEJC モニター版において応答表現として出現する文末表現の分類項目

(1) デス系
(2) ダ・ダロウ系
(3) ジャ・デハ系
(4) カナ・カモ・ネ・ト系

表 6 CEJC モニター版に出現する文末表現 (4) カナ・カモ・ネ・ト系 (件)

文末表現： カナ・カモ・ネ・ト系	件数
<b>かな</b>	<b>14</b>
かな。	14
<b>かも</b>	<b>10</b>
かも。	3
かもね。	7
<b>ね</b>	<b>1713</b>
ね。	1604
ね?。	84
ねっ。	3
ねね。	22
<b>と</b>	<b>6</b>
と。	6
<b>とか</b>	<b>4</b>
とか。	4
<b>とね</b>	<b>3</b>
とね。	3

表 6 より、「ネ系」が頻出していることがわかる。ここには「ね:」と「ね%」を含んでいる。なお、「ねね」は、「ねね」と連続して発音するものは 1 件もなく、「ね ね:」や、「ね: ね:」などである。

以下、発話例を会話 ID、話者情報、会話概要情報（主収録者の立場による）とともに示す。

#1 会話 ID: K003\_002c

- IC01\_詩織 あったほうがいいと思う?。
- IC01\_詩織 それともこれだけでいける?。
- IC02\_春菜 そうね。
- IC02\_春菜 うーん。
- IC01\_詩織 **かな。**  
(20-24 歳, 女性, 大学で友人に手伝ってもらい卒業論文の実験の準備)

#2 会話 ID: K001\_003b

- IC03\_佐久 あっ。
- IC03\_佐久 そのあと なんか 女子会してませんでした?。
- IC01\_萌 **かも。**  
(35-39 歳, 女性, 喫茶店で友人 2 人と食後のお茶しながら)

#3 会話 ID: C001\_001

IC01\_玲子 置いてるぐらい。  
IC01\_玲子 うーん。  
IC04\_美沙 ね。  
IC04\_美沙 ね。  
IC01\_玲子 そうなんだよね。  
IC02\_夏樹 収納に合わせてものがね。  
IC05\_美香 ね。  
IC04\_美沙 ね。  
IC03\_可奈子 ね。  
IC05\_美香 増えちゃうよね。

(可奈子 35-39 歳, 美沙・美香 40-44 歳, 女性, 飲食店で友人 4 人と誕生日会)

#4 会話 ID: T016\_003

IC02\_理奈子 (F その:)(0.336)人物評とかさ。  
IC01\_慎吾 あー。  
IC01\_慎吾 そう (G そう|そ)。  
IC01\_慎吾 人間ドラマ 評伝みたいな。  
IC02\_理奈子 とか。  
IC02\_理奈子 そう。

(理奈子 35-39 歳, 女性, 自宅で夕食後に妻とくつろぎながら雑談)

### 3. 3 CEJC モニター版にて出現する感動詞以外の応答表現

柏野(2019)では, CEJC モニター版に出現する「感動詞-一般」のうち, 応答表現の用法を持つとみなせるものを見通しよく把握するために, 次の表 7 のように大きく二つに分類し, その下で, 主に表層に基づき細分類した。このとき, できるだけ表層で分けようと試みたが, (1) の「はい系」「いい系」「いいえ系」は意味で分類した方が見通しがよいと考え, この三つは意味による分類をした。意味に基づく細分類をひらがな表記で, 表層に基づく細分類をカタカナ表記で区別した。

表 7 CEJC モニター版において応答表現の用法を持つ「感動詞-一般」 (柏野 2019)

- |  |
|--|
| (1) 肯定・否定の反応を示す感動詞<br>はい系, ウン系, ウオ系, いい系, いいえ系   |
| (2) 感情 (驚き・感心・喜び・落胆など) の反応を示す感動詞<br>あーおーわー系, いーうーえー系, ア・イ・ウ・オ系,<br>カ行系, サ行系, ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ系, マ行系 |

本稿でも, 「大きく分類」「できるだけ表層で分ける」という分類方針を踏襲し, 次の表 8 に示すとおり, 表 7 と同じ分類項目を設けた。意味に基づく細分類を漢字・ひらがな表記で, 表層に基づく細分類をカタカナ表記で区別する。なお, 柏野(2019)では, 複数の「感動詞-一般」を表 7 の分類の (1) と (2) とに二重に分類した集計結果を報告していたが, 本稿では多重分類はせず, どちらか一方に分類して集計する。

また, 個々の用法を把握するには, アクセントや文脈により, 肯定か否定か, あるいは, さらに細かく, 承諾か, 理解か, といった用法に基づく細分類が必要になるが, 本稿ではそれは問わない。今回は, 応答表現用法をもつ語の洗い出しまでが目的であるためである。

表 8 の分類項目の該当例を集計した結果を表 9 から表 14 に報告する。集計は, 3. 1 で得た件数であり, 応答表現ではない用例を含んでいるものもある。

表 8 CEJC モニター版に出現する感動詞以外の応答表現（文末表現以外）

(1) 肯定・否定の反応を示す応答表現 ソウ系, ソレ・ソナ系, うそ・ほんと系, ワカル系, なるほど系, 知る系, 了解系, 大丈夫系, アル系, スル・ナル・オモウ系, 嫌だ系, チガウ系, ナイ系, ナニ系
(2) 感情（驚き・感心・喜び・落胆など）の反応を示す応答表現[(1)以外] びっくり系, スゴイ・サスガ・ヤバイ系, 偉い系, いい系, 嬉しい系, 素敵系, 面白い系, ダメ系, ひどい系, デタ・キタ系

表 9 CEJC モニター版に出現する感動詞以外の応答表現（1）ソウ系（件）

ソウ系	件数	ソウ系	件数	ソウ系	件数
<b>そう</b>	<b>3982</b>	そうだったっけ。	4	<b>そうなの</b>	<b>822</b>
そう。	2380	そうだったね。	5	そうなの。	133
そう?。	65	そうだったの。	3	そうなの?。	113
そうか。	139	そうだったんだ。	5	そんなの。	10
そっか。	282	そうだと思う。	5	そんなん。	4
そうかそうか。	18	そうだな。	11	そうなのか。	6
そっかそっか。	54	そうだね。	403	そうなのそうなの。	18
そうかな。	10	そうだね?。	7	そうなのね。	10
そうかね。	8	そうだねそうだね。	4	そうなのよ。	18
そうかも。	4	そうだよ。	96	そうなのよね。	4
そうかもしないね。	3	そうだよな。	7	そうなんす。	3
そうかもそうかも。	3	そうだよね。	206	そうなんすか。	7
そうかもね。	14	そうだよね?。	5	そうなんすね。	3
そうしましょう。	3	そうだろうね。	6	そうなんすよ。	3
そうじゃない?。	3	そうだわ。	3	そうなんだ。	347
そうじゃん。	7	そうでもない?。	3	そうなんだね。	10
そうしよう。	9	<b>そうです</b>	<b>499</b>	そうなんだよ。	10
そうすね。	5	そうっす。	11	そうなんだよね。	22
そうそう。	434	そうっすか。	4	そうなんです。	20
そうそうそう。	260	そうっすね。	35	そうなんですか。	20
そうね。	233	そうっすよ。	3	そうなんですね。	24
そうねそうね。	4	そうっすよね。	4	そうなんですよ。	22
そうみたいっすね。	3	そうでしょ。	5	そうなんですよね。	10
そうみたいね。	4	そうでしょう。	5	そうなんや。	5
そうやね。	3	そうでしょう?。	3	<b>そうゆう</b>	<b>63</b>
そうよ。	20	そうでしょうね。	4	そうゆう。	17
そうよね。	10	そうです。	55	そうゆうこと。	3
そう思う。	4	そうですか。	53	そうゆうこと?。	6
<b>そうだ</b>	<b>908</b>	そうですか?。	3	そうゆうことか。	14
そうだ。	98	そうですそうです。	13	そうゆうことね。	6
ただけど。	6	そうですね。	221	そうゆうね。	3
そうだそうだ。	14	そうですよ。	11	そうゆうの。	10
そうだっけ。	8	そうですよね。	69	そうゆうのって。	4
そうだった。	9				

表 10 CEJC モニター版に出現する感動詞以外の応答表現（1）  
ソウ系／うそ・ほんと系／ワカル系／なるほど系／知る系／了解系（件）

ソレ・ソナ系	件数
<b>それ</b>	<b>13</b>
それな。	3
それね。	10
<b>そんな</b>	<b>49</b>
そんな。	28
そんなこと。	4
そんなことない。	7
そんなことないよ。	3
そんなに。	3
そんなに?。	4

うそ・ほんと系	件数
<b>うそ</b>	<b>53</b>
うそ。	49
うそだよ。	4
<b>ほんと</b>	<b>532</b>
ほんと。	123
ほんと?。	69
ほんとそう。	3
ほんとそうだよね。	3
ほんとだ。	103
ほんとだね。	26
ほんとだほんとだ。	3
ほんとだよ。	19
ほんとだよね。	10
ほんとですか。	9
ほんとに。	92
ほんとに?。	25
ほんとにもう。	3
ほんとね。	18
ほんとは。	7
ほんとはね。	3
ほんとほんと。	11
ほんとよね。	5
<b>本当</b>	<b>136</b>
本当。	87
本当?。	46
本当に。	3
<b>まじ</b>	<b>78</b>
まじ。	7
まじ?。	8
まじか。	28
まじすか。	3
まじで。	18
まじで?。	11
まじですか。	3

ワカル系	件数
<b>わかる</b>	<b>50</b>
わかる。	24
わかる?。	10
わかるでしょ?。	3
わかるよ。	5
わかるわかる。	8
<b>わかります</b>	<b>77</b>
わかります。	7
わかります?。	3
わかりました。	67
<b>わかった</b>	<b>50</b>
わかった。	34
わかったよ。	3
わかったわかった。	9
よくわかったね。	4
<b>わかってる</b>	<b>8</b>
わかってる。	5
わかってるよ。	3
<b>わかんない</b>	<b>140</b>
わかんない。	91
わかんない?。	4
わかんないけど。	23
わかんないね。	5
わかんないの。	3
わかんないよ。	4
わかんねえな。	3
わからん。	4
よくわかんない。	3

なるほど系	件数
<b>なるほど</b>	<b>318</b>
なるほど。	178
なるほどな。	4
なるほどなるほど。	17
なるほどね。	119
<b>確か</b>	<b>203</b>
確か。	23
確かに。	133
確かにな。	9
確かにね。	28
確かに確かに。	7
確かね。	3
<b>その通り</b>	<b>3</b>
その通り。	3

知る系	件数
<b>知ってる</b>	<b>34</b>
知ってる。	13
知ってる?。	7
知ってるよ。	8
知ってる知ってる。	6
<b>知ってた</b>	<b>6</b>
知ってた。	3
知ってた?。	3
<b>知らない</b>	<b>91</b>
知らない。	48
知らない?。	5
知らないけど。	6
知らないです。	3
知らない知らない。	4
知らなかった。	9
知らね。	5
知らねえよ。	3
知らん。	5
それ知らない。	3
<b>覚えている</b>	<b>5</b>
覚えてる?。	5
<b>覚えていない</b>	<b>7</b>
覚えてない。	7

了解系	件数
<b>了解</b>	<b>13</b>
了解。	7
了解です。	6
<b>オーケー</b>	<b>101</b>
オーケ。	3
オーケー。	8
オケイ。	3
オッケ。	23
オッケイ。	12
オッキー。	32
オッキーオッキー。	5
オッキーです。	7
オッケオッケ。	8
<b>かしこまりました</b>	<b>6</b>
かしこまりました。	6
<b>もちろん</b>	<b>22</b>
もちろん。	13
もちろんもちろん。	9



表 12 CEJC モニター版に出現する感動詞以外の応答表現（1）  
ナイ系／ナニ系（件）

ナイ系	件数	ナニ系	件数
<b>ない</b>	<b>107</b>	<b>何</b>	<b>175</b>
ない。	47	何?。	106
ないない。	11	何が?。	25
ないね。	13	何それ。	18
ないの。	8	何何。	8
ないの?。	5	何何?。	12
ないよ。	11	なんなの。	3
ないよね。	7	なんなの?。	3
ないんだ。	5	<b>何だ</b>	<b>17</b>
<b>ないです</b>	<b>11</b>	なんだって。	3
ないです。	8	なんだって?。	4
ないですか。	3	なんだよ。	10
<b>なかった</b>	<b>4</b>	<b>何で</b>	<b>95</b>
なかった。	4	なんで?。	78
		なんでだ。	3
		なんでだよ。	6
		なんでなんで。	3
		なんでよ。	5

表 13 CEJC モニター版に出現する感動詞以外の応答表現（2）  
ナイ系／ナニ系（件）

びっくり系	件数	スゴイ・サスガ・ヤバイ系	件数	偉い系	件数
<b>びっくり</b>	<b>18</b>	<b>すごい</b>	<b>268</b>	<b>偉い</b>	<b>27</b>
びっくり。	3	すげえ。	19	偉い。	10
びっくりした。	11	すげえな。	8	偉いじゃん。	3
びっくりしちゃった。	4	すご。	8	偉いね。	11
<b>大変</b>	<b>33</b>	すごい。	228	偉いよね。	3
大変。	14	すんごい。	5	<b>立派</b>	<b>5</b>
大変だ。	4	<b>さすが</b>	<b>10</b>	立派。	5
大変だったね。	4	さすが。	7	<b>大事</b>	<b>11</b>
大変だね。	5	さすがだね。	3	大事。	4
大変だよね。	3	<b>やばい</b>	<b>95</b>	大事大事。	7
大変ですね。	3	やば。	12		
		やばい。	38		
		やばいじゃん。	4		
		やばいね。	9		
		やばいやばい。	6		
		やばいよ。	3		
		やばいよね。	6		
		やばくない?。	3		
		やべ。	6		
		やべえ。	8		

表 14 CEJC モニター版に出現する感動詞以外の応答表現（2）  
 いい系／嬉しい系／素敵系／面白い系／ダメ系／ひどい系／デタ・キタ系（件）

いい系	件数
<b>いい</b>	<b>456</b>
いい。	59
いい？。	29
いいいい。	15
いいかも。	3
いいけど。	4
いいな。	29
いいね。	71
いいの。	8
いいの？。	11
いいのいいの。	3
いいのか。	4
いいのかな。	3
いいのよ。	4
いいよ。	101
いいよ？。	4
いいよいい。	3
いいよいいよ。	13
いいよね。	18
いいよね？。	3
いいわね。	3
いいんだよ。	4
いいじゃない。	8
いいんじゃない？。	5
いんじゃない。	7
いんじゃない？。	11
いいじゃん。	22
いいと思う。	8
いいと思うよ。	3
<b>いいです</b>	<b>101</b>
いいっすね。	12
いいっすよ。	8
いいです。	9
いいですか。	7
いいですか？。	12
いいですね。	21
それいいですね。	3
いいですよ。	13
いいですよね。	6
いいと思います。	10
<b>よかった</b>	<b>88</b>
よかった。	43
よかったじゃん。	4
よかったね。	31
よかったよかった。	10
<b>よくない。</b>	<b>3</b>
よくない。	3

嬉しい系	件数
<b>嬉しい</b>	<b>19</b>
嬉しい。	19
<b>やった</b>	<b>23</b>
やった。	17
やったぜ。	3
やったね。	3

素敵系	件数
<b>素敵</b>	<b>17</b>
素敵。	10
素敵だね。	3
素敵素敵。	4
<b>素晴らしい</b>	<b>9</b>
素晴らしい。	9

面白い系	件数
<b>面白い</b>	<b>34</b>
面白い。	5
面白い。	17
面白いかも。	3
面白いですね。	3
面白いね。	6
<b>うける</b>	<b>4</b>
うける。	4

ダメ系	件数
<b>だめ</b>	<b>90</b>
だめ。	9
駄目。	11
だめ？。	3
駄目？。	4
だめか。	4
駄目か。	4
だめじゃん。	4
だめだ。	10
駄目だ。	4
駄目だな。	3
だめだよ。	5
駄目だよ。	6
だめなの。	3
駄目なの。	4
だめなの？。	3
駄目です。	7
駄目駄目。	6

ひどい系	件数
<b>ひどい</b>	<b>17</b>
ひどい。	8
ひどいね。	5
ひどくない？。	4
<b>まったく</b>	<b>9</b>
まったく。	6
まったくもう。	3
<b>ばか</b>	<b>11</b>
ばか。	4
ばかだね。	4
ばかめ。	3

デタ・キタ系	件数
<b>出た</b>	<b>9</b>
出た。	9

※モニター版の「だめ」と「駄目」の表記ゆれは、「だめ」への統一で解消予定。

先行研究であまり言及されていなかった例に着目し、以下、会話例を示す。

#5 会話 ID: \_K003\_002c

IC01\_詩織 あー。  
IC01\_詩織 なんかやっぱ表情(W(D ダイ)|大事)。  
IC01\_詩織 (L)  
IC01\_詩織 (L 大事だね)。  
IC02\_春菜 (L)  
IC02\_春菜 うーん。  
IC02\_春菜 それな。

(20-24 歳, 女性, 大学で友人に手伝ってもらい卒業論文の実験の準備)

#5 は分類 (1)「ソレ・ソナ系」の「それな」の例である。「それな」は、ごく最近の若者の応答表現と言われるものである。CEJC モニター版では 3 例あるが、2 例が上記の発話者であり、もう 1 例も、別の 20-24 歳の女性の例であった。

#6 会話 ID: K001\_003a

IC03\_佐久 ちっちゃいからこそ(W(U マン)|なんか難しそうな(U の))。  
IC02\_玲奈 ん。  
IC02\_玲奈 わかる。

(55-59 歳, 女性, 喫茶店で友人 2 人と食後のお茶をしながら)

#6 は、分類 (1)「ワカル系」の「わかる」の例である。半沢(2011,2015,2016)は、「わかった」「わかりました」と、過去形で用いられると述べているが、CEJC モニター版では #6 のように、現在形の使用例も多くみられる。過去形では主に了承を表すのに対し、現在形は単に同意を表すという用法の差があるようである。

#7 会話 ID: T003\_021

IC03\_晴美 でもさ (F あの)軟骨入りのつくねだとき こりこりこりこりしてておいしいよ。  
IC05\_尚子 チーチクのキュウリみたいな。  
IC05\_尚子 これ うちのお弁当の定番。  
IC04\_綾子 ある ある ある。  
IC01\_由美 超うまい。  
IC02\_紀子 うん。  
IC02\_紀子 でも: なんかやなんだって。  
IC03\_晴美 あるよね。

(綾子 40-44 歳, 晴美 45-49 歳, 女性, 子供の幼稚園時代のママ友 4 人と友人宅で昼食会)

#8 会話 ID: T004\_013

IC04\_田代 もう少し もう少しさ 整えとこうよ。  
IC01\_一ノ宮 うん。  
IC05\_岩崎 そうだね。  
IC01\_一ノ宮 そう。  
IC04\_田代 場所がどっちにしても:(F あの) いろんなそれこそね:(R(W ザーカキ|坂木))さんがいいこと言ったみたい: もうちょっと(D ワ)わかってるうちに。  
IC01\_一ノ宮 思う。

IC02\_松下 うん。  
IC05\_岩崎 うーん。  
IC01\_一ノ宮 思う。  
(60-64 歳, 女性, 地域懇談会の委員 4 名とイベント企画について打合せ)

#7 は分類 (1) 「アル系」の「ある」の例ある。そして, #8 は「スル・ナル・オモウ系」の「思う」の例である。これらは「それ」や「そう」が省略されているとも考えられる。いずれも同意を表す場合に用いられている。

#9 会話 ID: K001\_003b

IC02\_大槻 だいじょぶ。  
IC02\_大槻 だから いい (U いい)。  
IC01\_徹 (U そう)。  
IC02\_大槻 別に。  
IC02\_大槻 どうせ きょうフェイスブックのメール作るから。  
(35-39 歳, 女性, 喫茶店で友人 2 人と食後のお茶しながら)

「別に」はぶっきらぼうに「別に (どうでもいい)」というような応答表現で用いられているかと候補にしたが, 多くが「別に (ある)」のような, 応答表現ではない例が多かった。その中で, #9 は, 「別に (問題ない)」と用いられているようで, これは応答表現の例と判断した。CEJC モニター版以降のデータで用例が多くとれ, 検討できることを期待している。同様に, 今後用例が増えた際にさらに検討したいと思っているものに次の「無理」がある。

#10 会話 ID: T010\_004

IC01\_徹 じゃあ あのアーケードのドラムとかはできんの?。  
IC02\_大場 無理。  
IC01\_徹 あれ。  
IC02\_大場 わかんないもん。  
(20-24 歳, 男性, 大学で同じゼミの友人 2 人と授業の合間に雑談)

#11 会話 ID: C002\_006a

IIC02\_遥 もう: (W (D ロ)|ロボット)ロボットはしわなんかあったらいけないんだからつつるになんないと。  
IC03\_美佳 うーん。  
IC03\_美佳 (L しわ)。  
IC03\_美佳 ね:。  
IC03\_美佳 ほんと (G 嫌|や)よね:。  
IC02\_遥 うん。  
IC01\_日野 (W (D ツル)|つつる) つるつるもちよっとね: 不気味だよね。  
IC02\_遥 (L)  
IC03\_美佳 (L)  
IC02\_遥 無理。  
IC03\_美佳 (L)  
IC02\_遥 (L)

(55-59 歳, 女性, 夫が経営する店舗で元同僚の友人 2 人と懇談)

#10 は, 「できない」という代わりに「無理」で応答している例である。また, #11 は, 笑い声をかかず中で「無理」と発話する例である。#9 の「無理」をあえて別の言葉で言い換えると「ありえない」であろうか。いずれも大きくとらえれば否定の応答表現といえる。

分類(2)の感情の反応を示す応答表現の候補として、表13と表14に一覧を示した。このうち、最後にあげた「出た」の例を取り上げる。

#### #12 会話 ID: K001\_003b

IC05\_尚子 カップラ 何が好き?:?  
IC05\_尚子 あたし。  
IC01\_由美 カレーヌードル。  
IC04\_綾子 (L)  
IC05\_尚子 カレーヌードルか:。  
IC01\_由美 (L)  
IC03\_晴美 ふーん。  
IC01\_由美 あれの右に出るものはいない。  
IC05\_尚子 うそ:。  
IC05\_尚子 あたし あのシリーズだったら もうシーフードが断トツなんだよね:。  
IC01\_由美 シーフードもいいけどね:。  
IC03\_晴美 うん?。@子供とのやりとり  
IC03\_晴美 うん。@子供とのやりとり  
IC02\_紀子 (D チ) マルちゃんのワンタンスープ?。  
IC04\_綾子 うん。  
IC01\_由美 **出た。**  
IC01\_由美 マルちゃんおい(L しいよね:).

(35-39歳, 女性, 喫茶店で友人2人と食後のお茶しながら)

#12の「出た」は、この文脈では、二つ前の発話を好意的に評価する応答表現になっている。自分の想定する通りの発話や、自分の想定を少し超えたような発話があると「出た」と応答することがあるのではないかと考える。好意的な場合もあれば、そうでない場合もありそうである。同じようなときに「来た」とも言うのではないかと考え、「デタ・キタ系」という分類名を設けた。ただし、残念ながらCEJCモニター版の「出た」や「来た」の用例中、この用法に該当する用例は上記の発話例のみであった。ほかは、応答表現としてではなく、たんに移動を示す発話であった。CEJCモニター版以降のデータにて引き続き用例を収集していきたい。

#### 4. おわりに

柏野(2019)に続けて、CEJCモニター版を対象に、応答表現用法のある語の一覧を作成した。本稿では、感動詞以外の応答表現を対象にした。

応答表現のある語の候補は、発話単位の転記テキストファイルの先頭より最大10文字を対象に句点で終わるものだけを抽出した結果をもとに、頻度3以上のものをリスト化し、そこより目視にて抽出した。

はじめに、いわゆる文末表現が応答表現として用いられているものを明らかにするために、柏野(2019)で取り上げなかった(4)カナ・カモ・ネ・ト系の語の文頭における出現件数を報告した。

続けて、感動詞以外の応答表現を明らかにするために、(1)肯定・否定の反応を示す応答表現と、(2)感情(驚き・感心・喜び・落胆など)の反応を示す応答表現[(1)以外]という大きな2分類のもと、できるだけ表層をもとに、分類し、集計した結果を報告した。

本稿は、どのような語が「応答表現」の用法をもつ語としてCEJCモニター版に出現しているかを明らかにすることが目的であったため、大まかな分類で目的は達成できた。

しかしながら、今後は、用法別にさらに語を整理分析していきたいと考えている。個々の用法別に整理しなおす場合には、たとえば、分類(1)の「知る」系の「知らねえ」は、同

じ分類(1)の「嫌だ」系に分類する,あるいは,分類(2)の「いい系」の「いいよ」は分類(1)の「了解系」に分類する,など,系や分類を超えての,再検討が必要になる。さらにいえば,柏野(2019)で除外した CEJC モニター版の「感動詞-フィラー」にも応答表現があるものもあり, CEJC モニター版の品詞認定を一度外しての,整理が必要そうである。

品詞認定を外して考えるべきものの一つに,これまで取り上げていない,感謝,謝罪を表す応答表現がある。「ありがとう」は「感動詞-一般」,「ごめんなさい」は,「名詞」+「動詞」と,品詞が異なるが,一連の感謝,謝罪を表す語について,まとめて応答表現として分析する必要があると考える。

そのほか,会話の促進や停止を意図する応答表現や,応答表現と重なってくるところのある接続表現なども今後対象に加えて,さらに応答表現に関する調査分析を進めていきたい。

## 謝 辞

本研究は国立国語研究所の機関拠点型基幹研究プロジェクト「大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的研究」(プロジェクトリーダー:小磯花絵)の研究成果を報告したものです。

## 文 献

- 白田泰如・川端良子・西川賢哉・石本祐一・小磯花絵(2018)『日本語日常会話コーパス』における転記の基準と作成手法『国立国語研究所論集』15, pp.177-193.
- 大浜るい子(2002)「相づち使用と対人関係」『広島大学日本語教育研究』12,広島大学大学院教育学研究科日本語教育学講座, pp.1-9.
- 小磯花絵・天谷晴香・石本祐一・居關友里子・白田泰如・柏野和佳子・川端良子・田中弥生・伝康晴・西川賢哉(2019)『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の設計と特徴『言語処理学会第25回年次大会発表論文集』pp.367-370.
- 柏野和佳子(2019)「『日本語日常会話コーパス』モニター公開版に見られる応答表現」『言語資源活用ワークショップ2019発表論文集』pp.368-380.
- 半沢千絵美(2011)「日本語学習者の聞き手としての行動—相づちとあなづきの使用と認識の結果から—」『CAJLE』12, pp.159-179.
- 半沢千絵美(2015)「学習者の「聞き方」に潜む不自然さ—母語話者による学習者の聞き手行動の評価からわかること—」『CAJLE2015』, pp.49-59.
- 半沢千絵美(2016)「日本語学習者の聞き手としての行動を評価する—相づちと頷きの不自然さに着目して—」『CAJLE』17, pp.23-43.
- 堀口純子(1988)「コミュニケーションにおける聞き手の言語行動」『日本語教育』64, pp.13-25.
- 宮永愛子(2013)「日本語学習者の相づち表現の分析」『金沢大学留学生センター紀要』16, pp.31-43.
- 森山卓郎(1989)「応答と談話管理システム」『阪大日本語研究』1, pp.63-88.
- 森山卓郎(2015)「感動詞と応答」友定賢治(編)『感動詞の言語学』ひつじ書房, pp.53-81.
- 山崎誠・大村舞(2019)『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の語彙『言語処理学会第25回年次大会発表論文集』pp.1285-1288.
- 吉田奈央・高梨克也・伝康晴(2009)「対話におけるあいづち表現の認定とその問題点について」『言語処理学会第15回年次大会発表論文集』pp.430-433.

李舜炯(2015)「対人関係によるあいづち表現の使用傾向の違い—シラバス構築の一助として—」『日本語研究』35, pp.179-192.

柳川子(2003)「台湾人日本語学習者の相づち表現—滞日経験のない上級学習者の場合—」『言語文化と日本語教育,』25, pp.66-77.

#### 関連 URL

国立国語研究所共同研究プロジェクト「大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的な研究」

<http://pj.ninjal.ac.jp/conversation/>

コーパス検索アプリケーション『中納言』

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>

全文検索システム『ひまわり』 / 『日本語日常会話コーパス』モニター公開版

<https://www2.ninjal.ac.jp/lrc/index.php?%C1%B4%CA%B8%B8%A1%BA%F7%A5%B7%A5%B9%A5%C6%A5%E0%A1%D8%A4%D2%A4%DE%A4%EF%A4%EA%A1%D9/%A1%D8%C6%FC%CB%DC%B8%EC%C6%FC%BE%EF%B2%F1%CF%C3%A5%B3%A1%BC%A5%D1%A5%B9%A1%D9%A5%E2%A5%CB%A5%BF%A1%BC%B8%F8%B3%AB%C8%C7>